

松伏町総合振興計画審議会 松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会  
第3回合同会議 議事録

会議名称	松伏町総合振興計画審議会 松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 第3回合同会議
開催日時	令和5年8月21日(月) 18時00分から20時00分
出席者	<p>【総合振興計画審議会委員】(敬称略)  元埼玉県職員(審議会会長):梅山 洋一  松伏町都市計画審議会 会長(審議会副会長):井上 桂一  松伏町連合自治会長会 会長:松下 英治  松伏町農業委員会 会長:山崎 久俊  松伏町民生委員・児童委員協議会 会長:明戸 恵子  松伏町商工会 会長:小島 朗  松伏町PTA連合会 会長:デニス 優里</p> <p>【まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会委員】(敬称略)  松伏町商工会 会長(審議会会長):小島 朗  大正大学地域構想研究所研究員:佐藤 和彦  越谷公共職業安定所 所長:赤羽 章  株式会社埼玉新聞社クロスメディア局 局長:小林 義治  公募町民:今井 新吉  特定非営利活動法人親子サポートぽっぽ 代表:大塚 節子</p> <p>【松伏町】  (策定委員会委員)  副町長(策定委員会委員長):鈴木 寛  企画財政課長(策定委員会副委員長):立沢 昌秀  総務課長:目黒 健二  住民ほけん課長:玉木 和謙  税務課長:松本 邦彦  いきいき福祉課長:坂巻 正士  すこやか子育て課長:本多 登  環境経済課長:後藤 秀徳  新市街地整備課長:兵頭 勇  まちづくり整備課主幹:伊藤 孝彦  会計室長:青谷 正勝  教育総務課長:川村 功  教育文化振興課長:鈴木 英樹  (事務局)  企画財政課主幹:渡辺 武志  企画財政課主幹:小野澤 智昭</p>

	<p>企画財政課主任：平良 敏行  企画財政課主任主事：渡邊 大輔</p>
欠 席 者	<p>【総合振興計画審議会委員】（敬称略）  公募町民：佐藤 夏帆  公募町民：中井 美咲  吉川松伏医師会 副会長：宮里 良乃</p> <p>【まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会委員】（敬称略）  埼玉県東部地域振興センター 所長：佐々木 亨  埼玉りそな銀行越谷支店 支店長：森久保 晶彦  公募町民：山崎 純佳</p>
次 第	<p>1 開会  2 会長あいさつ  3 協議事項  （1）松伏町第6次総合振興計画基本構想（案）について  4 その他  （1）今後のスケジュールについて  （2）第2期松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和4年度進捗状況について  5 閉会</p>
議事録作成者	<p>企画財政課総合政策担当 主任主事 渡邊 大輔</p>
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 別添資料1 松伏町第6次総合振興計画（序論、基本構想案）</li> <li>・ 別添資料2 第2期松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和4年度進捗状況について</li> <li>・ 別添資料3 第2期松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業実施状況一覧表</li> <li>・ 修正事項一覧</li> <li>・ 第6次総合振興計画将来像</li> <li>・ 土地利用構想図比較</li> </ul>

発言者	発言内容・決定事項
1 開会	
2 会長あいさつ	

### 3 協議事項

発言者	発言内容・決定事項
4 協議事項	(1) 松伏町第6次総合振興計画基本構想(案)について
事務局	<p>(資料に基づいて事務局から説明)</p> <p>「資料1」、「修正事項一覧」、「第6次総合振興計画将来像」、「土地利用構想図比較」を用いて以下の点を事務局から説明。</p> <p><b>資料1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この資料は、審議会から頂いた意見や庁内での検討結果などを反映したもので、審議会終了後、パブリックコメントを実施し、広く町民からの意見を募集していく。</li> <li>・概要や修正箇所等について説明した。</li> </ul> <p><b>修正事項一覧</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この資料は、前回の第2回合同審議会からの変更点について、表でまとめたものであると説明した。</li> </ul> <p><b>第6次総合振興計画将来像</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1のP31の基本構想の将来像の検討状況について説明した。</li> </ul> <p><b>土地利用構想図比較</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1のP50の土地利用構想図について、第5次総合振興計画時からの変更点について説明した。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より説明があったが、意見・質問はあるか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートやワークショップ、様々な手法で町民意識を把握しようとしていることがわかる。</li> <li>・中高生のアンケート結果は未来に繋がる重要なものであるが、通勤・通学等の交通機関や買い物、レジャーなどへの要望が強く、それらが充実すれば住み続けたいと思っている。それに対応しているであろう「BRT」などの施策について記載し、前進させたことも評価できる。</li> <li>・「BRT」については、東埼玉道路の開通によるものが大きいと思われるが、「DX」と「公共交通」についてはどう関わってくるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「DX」の取り組みについて、現在松伏町では高齢者タクシーの取り組みを行っているが、例えばそれを紙チケットの配布ではなく、マイナンバーカードと連携してポイント付与をするような取り組みも案として考えられる。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「公共交通」をDXで推進する一番のメリットは、そこで利用者のデータが取れることであると考えている。今後、ニーズ把握に努めながら、様々な施策を展開していきたいと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「BRT」は地域の公共交通の利便性の向上を想定し、街中においてはマイナンバーカードを利用した新たなデジタルの取り組みで、利便性やニーズを分析し、次のステップに繋いでいくということによいか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前、現町長が道の駅を推進するとの発言があった時に「赤字になってしまうのではないか」と感じたところであった。</li> <li>・第6次総合振興計画において、力を入れていく理由として何か具体的に見通しがたったということか。</li> </ul>
新市街地整備課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅について、第5次総合振興計画の時点から新市街地区域の核として松伏町では検討してきた。</li> <li>・「BRT」の位置付けについては、「BRT構想」が机上に上がってきたことや、前回審議会において前面に打ち出した方がよいとの意見があったことから、より明確に推進していく表現に変更した。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な道の駅に訪れたことがあるが、繁盛しているところは多くあるように感じる。松伏町の道の駅についても赤字にならずに良い方向に進むように期待したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅については、バスターミナルを踏まえたものとの説明があり、大いに期待したいと考えている。</li> <li>・一方で、台風による町内の水害について、被害があればそれにしっかり対応していただきたい。さらに大切なのは、被害が無いように対策をしなければならぬが、その方向性が出ていないように感じた。町だけでなく国土交通省との関連もあると思うが、水害の無い町にするためにはしっかりした対策と具体的な内容が必要であると考えている。</li> </ul>
総務課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害、防災等については、資料1の44ページの大綱6の大項目4(2)「災害に強いまちづくりの推進」に項目出しをし、大規模災害に備え、地域防災力や減災意識向上と共に、治水対策等を図り災害に強いまちづくりを推進していく。具体的な個別施策や国との連携などについては、いただいたご意見を参考にさせていただきながら、基本計画等で整理していきたい。</li> <li>・また、資料1の42ページの大綱5の大項目4(2)「下水道雨水幹線等の整備と長寿命化」に項目出しをし、既存の弥太郎雨水幹線排水路や赤岩雨水幹線排水路などの大きな排水路の適正管理を行い、集中豪雨などに対応できるよう進めていく。こちらについても具体的な施策などは、いただいたご意見を参考にさせていただきながら、基本計画等で整理していきたいと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6次総合振興計画将来像の資料の案2冒頭「こどもから高齢者まで」と、資料1の27ページの「今後のまちづくりの主な課題」(1)と(3)</li> </ul>

	<p>について、(1)「こども・子育て支援の充実」は今後も必要となってくるため、国では子どもの居場所について重点的に取り組んでいると思うが、こちらについて、今後町は予算も含めてどのように考えているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・また、(3)「地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備」に記載の高齢者についても、健康づくりの推進に力を入れていく必要がある中で町はどのように考えているのか。</li> <li>・資料1の44ページ大綱6の大項目2「資源循環社会の推進」についても、町としてどのように取り組むのか伺いたい。</li> <li>・また、先日、「松伏町廃棄物減量等推進審議会」が設置され、会議中に委員からゴミ問題については、教育委員会も含めて、こどもの頃から廃棄物に対しての意識を教育していく必要があるとの意見があったが、こちらについて具体的な施策などどのように考えているのか。</li> </ul>
すこやか子育て課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援については、資料1の27ページ(1)「こども・子育て支援の充実」に記載があるとおり、現在、国で進めている「こども基本法」や「こども家庭庁」創設などを踏まえて課題としている。こちらの課題に対する部分としては、35ページの大綱1として基本構想に定めているが、詳細の施策については、いただいたご意見を参考にさせていただきながら、基本計画等で整理していきたいと考えている。</li> </ul>
いきいき福祉課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に関する課題については、資料1の27ページ(3)「地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備」として記載している。日本全体が少子高齢化となり、松伏町の中でも高齢化が進んでおり、特に単身高齢者や高齢者世帯も増加している。</li> <li>・そういった社会の中で、日本全体で現在、「地域共生社会」が一つのキーワードとなっている。こちらについては、以前は障がい者や介護が必要な方には施設入所で対応していたが、こういった方々が住み馴れた地域でいきがいを持って暮らせるような地域づくりをしなければならないという観点から、「地域共生社会」が言われている。その中で一番必要なことは、地域資源と言われる「人的資源」である。住み馴れた地域の中で暮らすことが難しい中で、松伏町の中で元気な高齢者の力を借りて、お互い支え合うまちづくりを考えている。町としては相談機関の充実を図り、町民の要望に応えていきたい。</li> </ul>
環境経済課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1の44ページ大項目2「資源循環社会の推進」について、ごみの減量化、再資源化に向けて「行政」・「町民」・「事業者」が一体となって取り組む必要があると考えている。町では「松伏町廃棄物減量等推進審議会」を設置し、ごみの減量化等について議論を重ねていきたいと考えている。</li> <li>・審議会において委員から意見があった次世代を担うこども達への環境に対する教育については、環境経済課と教育委員会で連携を取り、こども達の意識を育て、今後の松伏町の減量化についての意識向上を目的に進めていきたいと考えている。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援については、私もNPOの代表として更に充実した相談体制や、預かり体制を頑張っていきたいと考えている。</li> <li>・地域福祉においては、介護保険を利用する手前の人をどれだけ増やせるか、社会保障費を使わせない、使わないようにすることに重点を置くことで、町はもっと活性化すると思う。</li> <li>・ゴミ問題について、松伏町は個人で出すごみの量が5市1町の中で一番多いことが分かっている。そういった現状を踏まえて、再度分別方法も考え、環境に優しい町民にならなければならない。また、審議委員からの意見であった子どもの頃からの教育については今後、学校や教育委員会の中に組み込んでいけるものなのか伺いたい。</li> </ul>
教育総務課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの頃からのゴミに対する教育については、小学校の社会科の授業でごみ処理について学び、社会科見学でリユースの見学を行っている。また、総合的な学習の時間でも環境問題の学習を進めている。資料1の35ページ大項目3「特色ある学校教育の推進」に記載してあるとおり、今後は紙面で学ぶだけでなく、町内で新たに設置されたリサイクルセンターの見学など、実際に体験等を経て学ぶ機会を提供し、ごみの減量化の意識向上に向けた教育を進めていきたいと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1の40ページ大項目1「農業の振興」の冒頭文章について、「活性化を図ります」という文章があるが、具体的にどのように活性化を図るのか伺いたい。肥料、燃料が高騰している中で、「活気あふれる農業」についてどのように考えているのか。</li> </ul>
環境経済課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業振興について、持続可能で安定的な経営の確立を促進する中で、新鮮で安全な農作物の提供や地産地消、体験型農業やイベント等を通じて、農業の活性化に繋がりたいと考えている。</li> <li>・また、道の駅等でも農作物の直売などを通じてPRしていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単なる意見としてお聞きいただければと思う。大学の研究機関で防災を研究しているが、防災、治水対策について、どれだけ対策しても東日本大震災のような人智を越える災害が起こってしまうものと考えている。防災の関係では「レジリエンス」と表現されることが多くなってきたが、人智を越える災害が来ることを町民が認識する必要があると考える。また、実際に起こってしまい被害を受けた後に、どのように素早く暮らしを取り戻すかという回復力が課題であると考えている。これらの事項については、防災計画の分野かもしれないが、特に床上浸水が多発するとごみが大量に出るので、災害ごみ対策についても検討いただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ問題について、ごみの削減は行政の仕事だと思っている町民が多い印象である。学校教育や社会教育、広報誌でのPRも大切だが、もう一步踏み込み環境教育として力を入れていただきたい。分別してごみを減らせばお金が動き、福祉や道路行政などにお金を使えるということを知ってもらうために、町民の気持ちを喚起するPRを行ってほしい。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町ではごみの最終処分場を考えていないようであるが、ごみを出すということは必ず最終処分場が必要になってくるため、今後の課題として検討していただきたい。</li> <li>・先ほどいきいき福祉課長から「人材」について話があったが、「地域共生社会」における共助の担い手になりたいと思っている町民はたくさんいるので、「やりがい」を提供いただけるような施策や機会をお願いしたい。</li> </ul>
環境経済課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松伏町においては、可燃ごみについて東埼玉資源環境組合の構成員として、5市1町でごみ処分をしているところである。</li> <li>・松伏町では、リサイクルセンターを整備し、リサイクルの状況が変化してきた中で、センターを十分に利用していき、こういった取組をうまくPRして町民の意識醸成を行っていく工夫をしていきたいと考えている。</li> <li>・ごみの最終処分場については、町内において関連施設は持っていない状況である。広域でごみ処理問題、焼却炉の更新、ごみ減量化についての検討会を開催し、協議しているところであるため、必要となれば検討していきたい。</li> </ul>
いきいき福祉課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、松伏町で65歳以上の方は8,500人程度居住している。こちらの内訳については、75歳以上の後期高齢者の方が半数以上を占めている状況である。この状況は、今年度から団塊の世代の方々が75歳を迎えたためである。人生100年時代と言われる中で町内においても元気な高齢者が多くいることは把握しているため、元気な高齢者が、それまでの経済を支えてきた様々な経験を活かせる活躍の場をつくり、「地域共生社会」の実現を進めたいと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人あたりのごみの量について松伏町は多いとのことであるが、分析等は行っているのか。</li> </ul>
環境経済課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ4年はコロナの影響で、ごみの内容物の調査は行っていないため、直近の状況は把握出来ていないが、一説によると、「枝草の搬入」が多いと聞いている。町では軽トラックの貸し出しや、枝草の補助金を設けて、分別して堆肥化を進めているが、堆肥化にまわる枝草より燃えるごみにまわる枝草が多くなっていることが考えられる。今後対応を検討していきたいと考えている。</li> </ul>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1の40ページ大項目2「商工業の振興」の冒頭文章について、企業誘致と土地利用についての文章が混在しているため、並べ替えて読んで人がわかるように再考願いたい。</li> <li>・44ページの大項目1「環境にやさしいまちづくりの推進」の最後の文章「空き家、空き地などについて、予防的対策としての意識啓発や利活用促進を図ります」とあるが、こちらについては、町においては条例を定めて民間と連携していることと思う。「空き家問題」や「空き地問題」については、「空き家」が「空き地」にならないことが問題であり、「空</li> </ul>

	<p>き家問題」については、1点目が防犯問題や放置された状態が続くと「割れ窓理論」のように周辺地域の治安悪化懸念される点である。2点目としては台風や地震などの防災の観点である。3点目で環境や景観の悪化となる。文言としては別の項目に記載してもよいものではないかと考えた。現在町の状況として条例で定め民間と提携したことからの項目にしたとのことであれば、この項目としても悪くはないが、まずは空き家を優先的に対策していくという考え方が必要であるとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・49ページの土地利用検討エリアの1行目の「主に東埼玉道路」の「主に」という部分について他にも予定している部分があるのかと疑問に感じた。他に予定がないのであれば別の表現で「新たに」などと記載を変更した方がよいとする。また、2行目の①～③までの説明については、50ページの図と整合が取れていない表現であると感じたため、再考願いたい。</li> <li>・道の駅については、「おいしいもの」や「特産物」を打ち出してみるのがよいかもしれない。バスターミナルと共に道の駅は必然だと考えているので、農業の活性化を図っていただきたい。</li> </ul>
企画財政課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3点の文言修正等については検討し、後日お知らせしたい。</li> <li>・道の駅について、第6次総合振興計画においては設置していきたいというのが町の意向である。多くの委員から意見をいただいたように、地域の発展を促すのと合わせて、町民からの期待の高い公共交通やBRT、また東埼玉道路と浦和野田線の結節点の土地利用を鑑みて、「道の駅の推進」をしていくということで検討していきたい。こちらについては第6次総合振興計画上に重点戦略として掲載していきたいと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年前に参加した「道の駅推進ワークショップ」の際に、農業をしている若い委員が、「JAに負けないくらい松伏町の農作物を出したい」というような意見が出ていた。松伏町の農業を担う若い人達が道の駅が出来ることを望んでいたため、道の駅については、今後期待したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松伏町は緑豊かで子供達も心豊かに育っていると感謝している。</li> <li>・資料1の40ページ大項目1「農業の振興」の文章で「体験型農業」について記載があるが、近年のこども達はひきこもりや精神疾患を抱えているこどもが多くいると聞いている。農業体験や土いじり、花植え替えを通じて、半年以上をかけて病状が良くなるケースがあることを聞いたので、積極的に推進していただきたい。</li> <li>・41ページ大項目3「雇用の促進と勤労者支援」について、女性のキャリアのサポートが町では手薄に感じているため充実させていただきたい。</li> </ul>
環境経済課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業体験などについては、農業者と連携し、そういった方々に対する取組ができないか検討していきたい。</li> <li>・女性の雇用促進や女性のキャリアサポートについては職業安定所と協力しながら進めていきたい。</li> </ul>



いきいき福祉課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会構造が複雑になり、引きこもりや精神疾患の方が増加していると感じている。提案があった松伏町の魅力を活用して自然を触れ合うことについては、今後機会を設けられるように検討したい。</li> <li>・このような方々のキャリアサポートについては福祉事務所になるが、町村では福祉事務所を設置していないため、春日部にある県管轄の福祉事務所が対応にあたっている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・枝草のごみについて、資源ごみのような体制を整えることはできないか。</li> </ul>
環境経済課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約して搬入するにはルールがある。様々な意見を参考に検討していきたい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご質問・ご意見はないため、ここで、「資料1 松伏町第6次総合振興計画（序論、基本構想案）」について、お諮りする。</li> <li>・事務局から説明があった「原案」に対し、委員の意見を踏まえ修正後、「松伏町第6次総合振興計画（序論、基本構想案）」として、町民の皆様から意見を伺うということによいか。</li> </ul>
各委員	(委員全員承認)
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いただいた意見については、至急修正案を検討する。</li> <li>・パブリックコメントのスケジュールの都合があるため、作成した修正案を会長に報告し、会長了承のもと、パブリックコメント案とする。会長から了承を得たパブリックコメント案は、各委員に後日送付する。以上の形をお願いしたい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局説明にもあったが、修正案については私と事務局とで協議し、調整する形によいか。</li> </ul>
各委員	(委員全員承認)
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員全員承認であるため、パブリックコメントまでの協議・調整については、そのように進めさせていただき、委員の皆さまにパブリックコメントに向けた最終案をお示しするという形で進めていく。ご協力に感謝する。</li> </ul>

#### 4 その他

発言者	発言内容・決定事項
(1) 今後のスケジュールについて	
事務局	資料に基づいて事務局から説明した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月4日から10月3日の期間でパブリックコメントを実施予定と説明。</li> </ul>
(2) 第2期松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和4年度進捗状況について	
事務局	「資料2」及び「資料3」を用いて以下の点を事務局から説明。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度における第2期松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について説明した。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より説明があったが、意見・質問はあるか。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見、質問はなかった</li> </ul>
閉会	

